

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和5年9月25日

独立行政法人水資源機構
一庫ダム管理所長 阪元 恵一郎

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、一庫ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛の見積りを募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従いご提出をお願いします。

- (1) 参考見積書は、歩掛参考見積については作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。（別紙様式を参考にして下さい。）
- (2) 提出期間：令和5年10月3日（火）から令和5年10月6日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から17時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所長 阪元 恵一郎 宛
【担当】管理班 主査 霜田 晴行
〒666-0153 兵庫県川西市一庫唐松4-1
TEL 072-794-6671 FAX 072-794-0590
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）によりご提出をお願いします。

4. 歩掛参考見積内容

- (1) 業務基本条件及び業務作業項目、作業内容
別紙「見積仕様書」のとおりとします。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
 - ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、別紙「見積仕様書」の業務内容を実施するために必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。
- (3) 技術者の職種と定義
国土交通省が公表している「令和5年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）によりご提出をお願いします。

- (1) 提出期間：令和5年9月26日(火) から令和5年9月29日(金) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
9時から17時まで
- (2) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和5年10月2日(月) から令和5年10月6日(金) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

見 積 仕 様 書

今回依頼する見積内容は次のとおりです。

1. 業務目的

本業務は、一庫ダム貯水池における堆砂状況を経年的に把握するため、ダム貯水池深淺測量及び河川横断測量を行うものである。

2. 業務予定履行期間

令和5年11月～令和6年3月

3. 業務内容

3-1 作業計画（見積対象外）

測量作業着手前に、測量作業の方法、使用する主要な機器、実施体制、作業工程等、作業全体における計画を立案するとともに、業務計画書を作成するものとする。

3-2 現地踏査（見積対象外）

作業の実施にあたり、事前に各横断測線および深淺測量実施範囲について現地踏査を行うものとする。深淺測量で使用するGPS基準局の観測範囲が作業地区をカバーするように作業地区からの見通し状況を確認するものとする。また、距離標杭・既設基準点の設置状況等についても確認するものとする。

3-3 河川横断測量（見積対象外）

1. 河川横断測量は、別紙位置図に示す測線において、水深1m未満及び陸上部（現在洪水水位まで）を測量するものとする。
2. 測量は左右岸の距離標杭を用いて行うものとし、測点間隔は原則として5m毎とするが、測点間内の変化点についても観測を行うものとする。
3. 測量結果に基づき、前年度と比較可能な横断面図を作成するものとする。
4. 測量結果の点検整理を行うものとする。

3-4 ダム貯水池深淺測量（**見積対象**）

1. 深淺測量は、別紙位置図に示す範囲において、水深1m以深の水中部の標高(水深)をナローマルチビーム計測により行うものとする。
2. 測量はマルチビーム測深機（GNSS 測位、POS/MV(慣性航法 GPS)、測深ソナー256 本×0.5° ビームと同等又は同等以上）を用いて行うものとする。
3. 測量結果の点検整理を行うものとする。

3-5 測量結果等整理（**見積対象**）

1. マルチビーム計測により得られたダム貯水池深淺測量の結果を用いて、三次元データの整理を行うとともに、別紙位置図に示す各測線における横断データの整理を行うものとする。
2. ダム堤体に付属する選択取水塔周辺については、マルチビーム計測により得られた三次元点群データを用いて、取水塔本体の構造、外観及びその周辺の地形状況を把握し、異常の有無を確認するものとする。

3-6 横断面図作成（縦断面図を含む）（見積対象）

1. 本年度及び過年度の測量結果を基に、縦断面図及び横断面図を作成するものとする。なお、作成に当たっては、「ダムの堆砂状況調査要領（案）（平成 17 年 6 月）国土交通省河川局」に基づくものとする。
2. 深淺測量の横断面図は、河川横断測量の結果を統合して作成するものとする。

3-7 堆砂量計算（見積対象）

1. 堆砂量は、平面スライス法及び平均断面法の 2 つの方法で算出するものとする。
2. 平面スライス法は、原則として標高 1m 毎のスライス断面を用いて堆砂量を算出するものとする。
3. 平均断面法は、別紙位置図に示す各測線の断面積から堆砂量を算出するものとする。
4. 平面スライス法及び平均断面法で算出する堆砂量は以下の貯水位区分毎に応じて算出するものとする。
 - ① EL. 149. 0m～EL. 152. 0m ; 洪水調節容量(非洪水期)
 - ② EL. 135. 3m～EL. 149. 0m ; 洪水調節容量(洪水期の容量から①を除く)
 - ③ EL. 108. 0m～EL. 135. 3m ; 利水容量(洪水期)
 - ④ EL. 108. 0m 以下 ; 堆砂容量

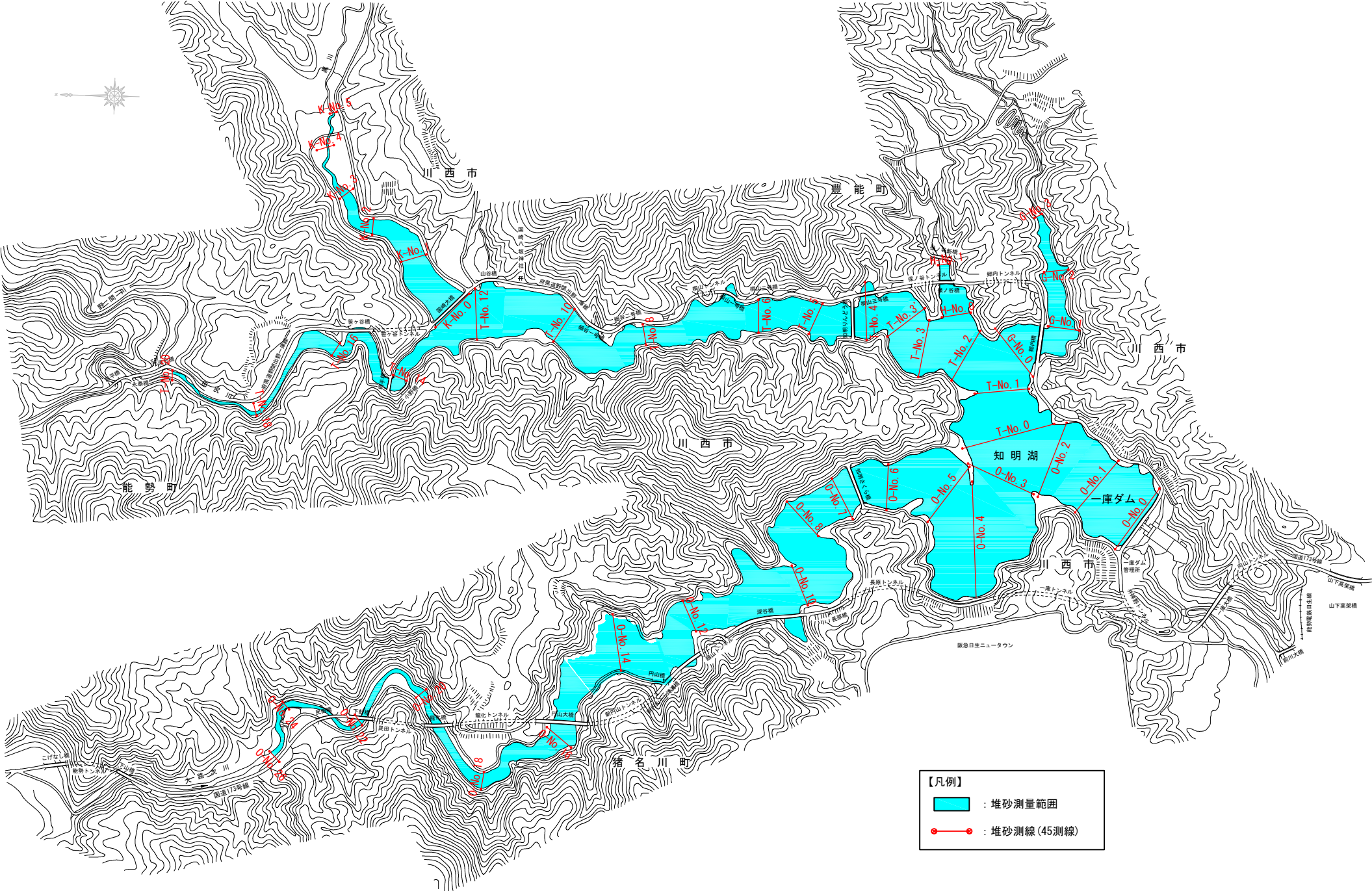
3-8 背水計算（見積対象）

測量結果に基づき、一庫大路次川、田尻川、黒川を対象として背水計算を行うものとする。計算方法は不等流計算（標準逐次計算法）とし、計算条件は下表のとおりとする。

対象河川	測線数	測線名	流量 (m3/s)	開始水位 (EL. m)	エネルギー 補正係数	粗度係数 (N)
一庫大路次川	18	0-No. 0～2	1,620	152.00	1.0000	0.055
		0-No. 3～26	1,070			
田尻川	15	T-No. 0～12	550	0-No. 2水位		
		T-No. 14～20	480			
黒川	6	K-No. 0～5	70	T-No. 12水位		

以 上

別紙位置図 一庫ダム貯水池堆砂測量業務 測量範囲平面図



参考見積書（参考様式）

業 務 名 : 一庫ダム貯水池堆砂測量業務(仮称)

工 種 ・ 種 別		規 格	単 位	数 量	機 械 経 費 率 (%)	材 料 費 率 (%)	備 考
深浅測量	ダム・貯水池深浅測量	測量主任技師	人				1km ² 当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				
		測量助手	人				
		測量補助員	人				
		測量船操縦士	人				
測量結果等整理	測量結果等整理	測量主任技師	人				10測線当たり 測線幅150m当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				
横断面図作成 (縦断面図を含む)	横断面図作成	測量主任技師	人				10測線当たり 測線幅150m当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				
堆砂量計算	堆砂量計算 (スライス法)	測量主任技師	人				1km ² 当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				
	堆砂量計算 (平均断面法)	測量主任技師	人				10測線当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				
背水計算 (不等流計算)	背水計算	測量主任技師	人				10測線当たり
		測量技師	人				
		測量技師補	人				

※機械経費率及び材料費率は、直接人件費に対する割合